

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度		平成17年度			
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	根拠法令・例規等	老人保健法	
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	施策	08	老人保健（医療給付）			
事務事業名		01	老人保健制度維持事業		問担当課（室）	保健課	
					職・氏名	保険医療係長 河井 健治	
					電 話	64-1819	

事業の実施		対 象 (誰・何に対して)		老人保健医療制度対象者	
		目 的 (何のために)		制度終了後の給付漏れに対して適切に医療給付を行う。	
		行 政 活 動 (どのような方法で)		旧老人保健医療制度の請求遅れ等による支払漏れに対して適切に給付を行う。	
		事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)		適切な給付事務による事業の完了を目指す。	

事業の実績		実 施 項 目	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
活 動	対象者数	人		6,250	5,953	5,953	
	第三者納付金	円		6,390,846	7,898,361	11,021,419	
	給付件数	件				13,253	
実 績	直 接 事 業 費	千円		51,570	18,834	10,778	
	必 要 人 員 人 件 費			0.35人	3,090	0.63人	4,416
	事 業 費 計			54,660	23,250	11,653	
	国 庫 支 出 金			6,777	8,284		
	受 益 者 負 担 金						
	線 入 金	千円					
	市 債 借 入 金						
	そ の 他 ()						
	一 般 財 源			47,883	14,966	11,653	
	受 益 者 負 担 比 率	%		-	-	-	

結果指標名		単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	対象者数	説明 一人当たり費用額	6,565	6,250	5,953
	対 前 年 比	%	-	95.2%	95.2%
	活 動 コ ス ト	円	42,976,000	54,660,000	11,653,000
	単 位 当 た り コ ス ト		6,546	8,746	1,958
結果指標②	結果指標量	説明			
	対 前 年 比	%			
	活 動 コ ス ト	円			
	単 位 当 た り コ ス ト				

事業の成果		成 果 指 標 名	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
一人当たり費用額		目標値 (A)		6,500	5,000	2,000	0
		実績値 (B)		8,746	5,129	1,958	到達目標年度
		達成率 (B/A)		134.6%	102.6%	97.9%	平成23年度
成果指標設定の考え方・式や説明							
年間費用額/対象者数 対象者一人当たりにかしている費用額を目標値として設定している。							

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成20年度事業)		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E>	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	判定理由・課題認識 制度完了まで適切な給付に努める必要がある。	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	C
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識 制度としての新たなコストは発生しない。前年度以前の請求遅れ等のコストのみである。	
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>	C
			判定理由・課題認識 平成23年度の事業完了に向けて適正給付に努める。	

平成21年度の状況		目 標 値	結 果 指 標 量 ①	1,958	結 果 指 標 量 ②	成 果 指 標 量	0.0
状 況	拡 充						
	現 状 継 続		○				
説 明	見 直 し						
	縮 小						
整理統合							
休止							
廃止・完了							

総合評価		評 価 区 分 <A~E>	C
後期高齢者（長寿）医療制度が開始されたことにより、本制度は平成23年度で終了となる。制度期間中は請求遅れ等に適切に対応することで給付漏れのないように適切な給付に努める。			

平成22年度以降の方向性・内容		方 向 性	拡 充	現 状 継 続	見 直 し	縮 小	整 理 統 合	休 止	廃 止 ・ 完 了
改 善 が 有 る 場 合	評 価 の 視 点	改善内容		○					
		改善時期							
説 明		適正に継続して事業を行う。							
改 善 が 有 る 場 合		改善により期待される効果							